

日建連における 建築BIMの取組み

2024.3.25

一般社団法人 日本建設業連合会

建築本部 建築BIM合同会議

建築生産委員会 BIM部会

日建連における建築BIMの取組み



日建連の建築BIM | 定着に向けたロードマップ

目標 ▷ 2025年：業務スタイルの確立 | 2030年：業務スタイルの定着

定着に向けたロードマップ

建築生産の課題解決としてBIMを活用

ガイドライン（第2版）で示されていたく継続的議論が必要な項目> は重要と考えています。私たちは可能な範囲から討議を進めています。

Step 1-3 ガイドライン第2版における対応方針

4 国土交通省

検討1 追記項目等の整理・検討

検討1 追記項目等の整理・検討

- 各団体和モデル事業の事業者・からの意見を踏まえ、ガイドライン改定における検討テーマについて整理を行い、各検討テーマについて議論を実施。
- 具体的には、各検討テーマについて、モデル事業等を通じ一定の成果がみられ、現時点で議論・取りまとめが可能と考えられるものと、今後引き続き議論・検証等が必要なものとに分類。
- 今後引き続き議論・検証等が必要なものとに分類されたものも、整理し課題としてガイドラインに記載
- モデル事業の成果等から、事例の記載等、充実化が可能なものを選定。

今回の改定で議論を行い反映するもの(案)

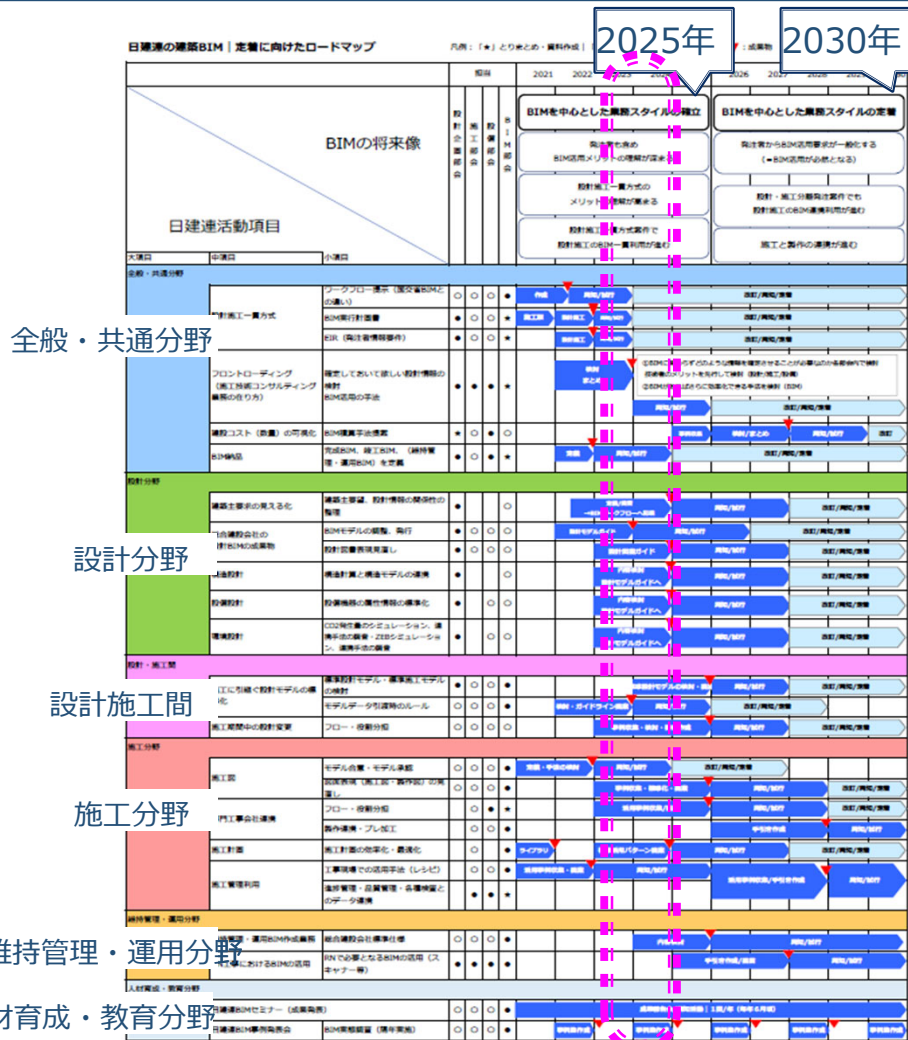
- 1.発注者メリットと発注者の役割
- 3.BEP/EIR
- 7.ライフサイクルコンサルティング
- 6.維持管理BIMの作成方法
- 4.各ステージの業務内容と成果物
- 5.標準ワークフローのパターン
- 2.データの受け渡しの方法
- 8.各部会等の取組

次回以降に向け継続的議論が必要なもの

- 11.設計変更の対応について
- 12.LOD/LOI
- 13.BIMマネージャー
- 14.業務報酬について
- 15.施工技術コンサルティング
- 16.設計責任と契約について
- 17.竣工モデルの定義
- 18.著作権について

▲ ガイドライン（第2版）で示された継続課題（国交省）

○：現在討議を続けている主なテーマ



▲ 日建連のロードマップ

2023年度の取組み

日建連の建築BIM | 定着に向けたロードマップ

目標 ▷ 2025年：業務スタイルの確立 | 2030年：業務スタイルの定着



■ 設計施工一貫発注におけるBIMの課題解決に向けた検討

- ① 『設計施工一貫方式におけるBIMのワークフロー（第2版）』
 - BEPのひな形/EIRのひな形を作成・公開
 - BIM納品（竣工BIMなど）の定義

【検討継続中】

- ② FL（施工技術コンサルティング）とBIMの関係
- ③ 設計BIMモデルガイド（設計と施工のBIMデータのあり方）
- ④ **設計と施工のデータ連携**（施工に引継ぐ設計BIMデータ）
 - データ連携に関する設計者と施工者間の意識調査
 - **BIMモデル承認に向けたデータ連携の方法論**

前回報告

前回報告

今回報告

■ 施工BIMの普及啓発活動の実施

- ① 日建連BIMセミナー/事例発表会開催（23年6月）
- ② **日建連会員会社におけるBIM展開状況の調査**

前回報告

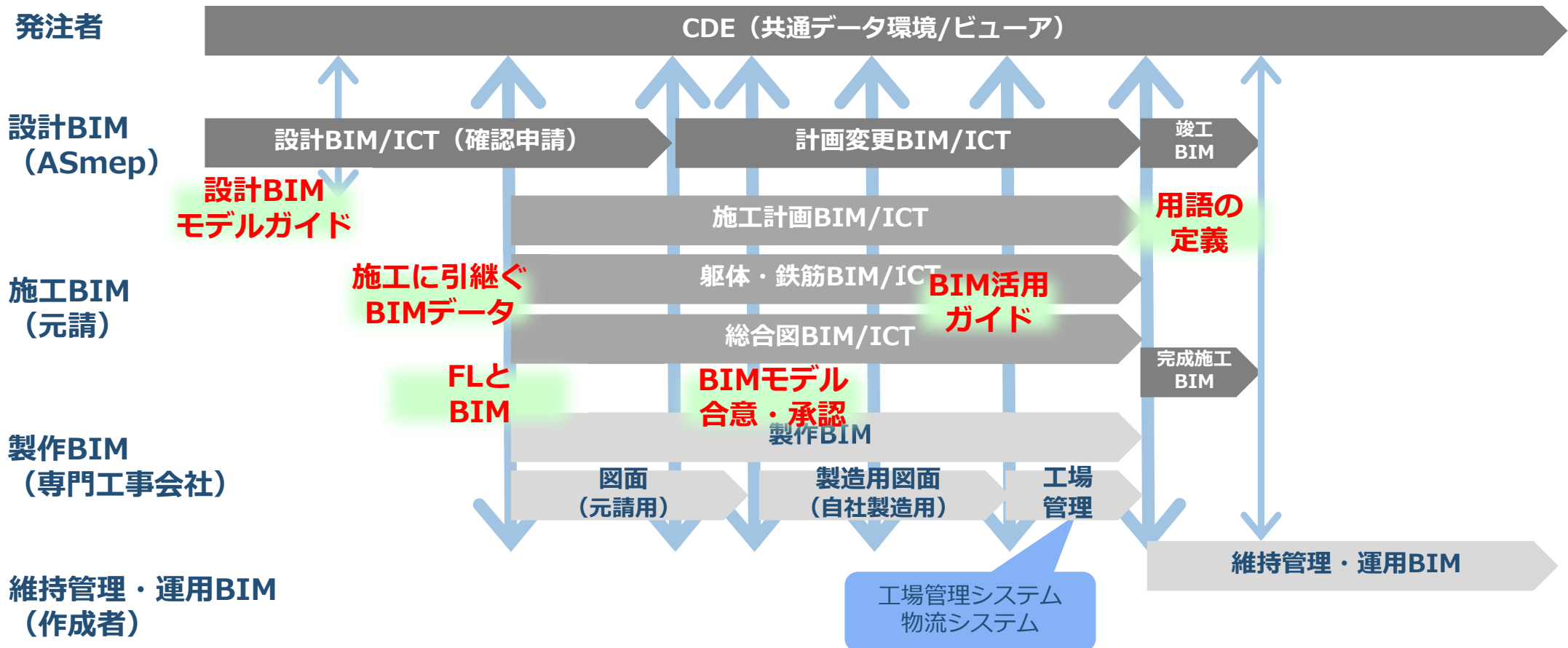
今回報告

設計と施工のデータ連携

BIMデータのマネジメントを通じて、建築生産プロセスをより良い方向へ改善することが重要です。日建連では、アクターごとのBIMデータが適切な時期に正しいデータで連携するワークフローを提案しています。

アクター（縦軸）ごとのBIMデータが連携するワークフローと取組みの領域

日建連の
取組み

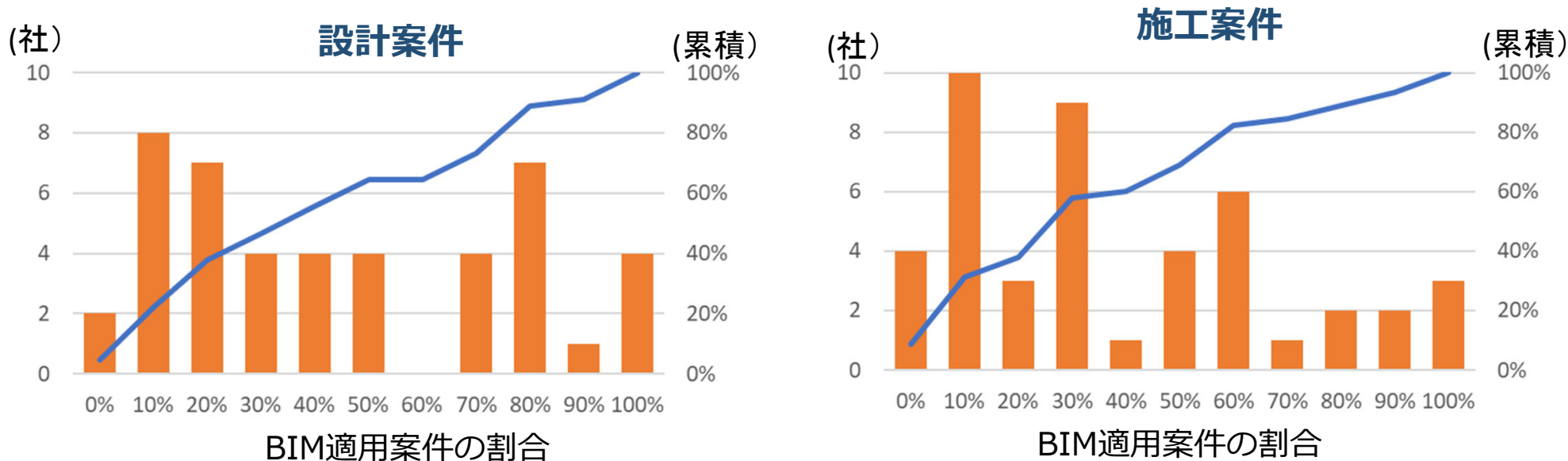


日建連会員会社におけるBIM展開状況の調査

日建連では、隔年で会員企業におけるBIM展開状況の調査を定点観測しています。前回(2022年)より、施工フェーズに加え、総合建設会社の設計部門での展開状況も調査項目に加えています。

- 調査結果の抜粋 (会員会社内におけるBIMプロジェクトの割合 N=45社)
【設問】 社内案件のうち、何割の案件でBIMに取り組んでいますか？

(棒グラフ) BIM案件割合別の回答会社数 (折線) 回答会社数の累積(%)



- ✓ 社内でのBIM活用割合は、会社によって広く分布
- ✓ 9割以上の案件でBIMを利用している会社は約1割(5社)。過半の会社では3割以下。

- その他の調査項目：日建連会員会社（設計部門・施工部門とも）の「導入状況」「推進部署の有無・規模」「活用目的別の展開状況」「効果と課題」
- 調査結果は、後日日建連HPにて公開、2024年日建連BIMセミナーにて解説予定

2024年度の取組み

引き続き、**日建連の建築BIM | 定着に向けたロードマップ** に沿って活動を継続

目標 ▷ 2025年：業務スタイルの確立 | 2030年：業務スタイルの定着



■ 設計施工一貫発注におけるBIMの課題解決に向けた検討

- ① 『設計施工一貫方式におけるBIMのワークフロー（第3版）』の公開
 - ・ FL（施工技術コンサルティング）とBIMの関係
 - ・ 設計BIMモデルガイド（設計と施工のBIMデータあり方）
- ② 設計と施工のデータ連携
 - ・ 鉄骨FABと元下請のデータ連携のあり方を整理し提言

■ 建築BIMの普及啓発活動の実施

- ① 日建連会員会社におけるBIM展開状況の調査
- ② **日建連BIMセミナー開催：2024年6月21日（金）**
- ③ 「施工BIMのインパクト2024」での講演
- ④ 『施工BIMのスタイル 事例集2024』の発刊
- ⑤ 『施工BIMの活用ガイド』レシピの追加

教育・普及 | 日建連BIMセミナー／事例発表会

2023年度の日建連BIMセミナーは、BIM部会に参加する総合建設会社19社の事例を紹介しました。

2024年度は、BIMワークフローのあり方について、パネルディスカッション形式で開催する計画です。

2024年度BIMセミナー：「（仮）BIMを活用した業務スタイル確立に向けて」 | 2024年6月21日(金) 13:00~17:00 | WEB配信

① BIMの課題解決に向けた討議

- 日建連の建築設計委員会（設計企画部会）、建築生産委員会（施工部会・設備部会・BIM部会）メンバーによる討議

【プログラム（案）】

- 建築BIMの現在地：日建連会員企業への調査から見たBIMの展開状況と困りごと
- 設計と施工間のBIM連携：一気通貫BIMの幻想からコンカレントBIMへ
- フロントローディングでの協業

② 日建連のBIM活動成果の解説（案）

- BIMモデル承認：考え方とケーススタディ（鉄骨工事）
- 施工BIM活用ガイド：新たに作成した活用レシピの事例紹介
- BIMの引渡し方：竣工BIMと維持管理・運用BIM

活動成果・資料の入手先 | 日建連 - BIM部会HP



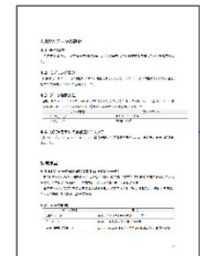
▲ BIM部会
(日建連HP)

▲ ロードマップ



▲ BIMモデル承認

▲ BIM実態調査2021



▲ EIR/BEP



▲ 活用ガイド



▲ 日建連建築BIMワークフロー



▲ 事例集2022



確かなものを 地球と未来に
一般社団法人 **日本建設業連合会**
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS